

LIXIL 高級アルミ鋳物門扉電気錠用両錠 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、各梱包に付属している全ての説明書を施主様にお渡しください。

■梱包明細表

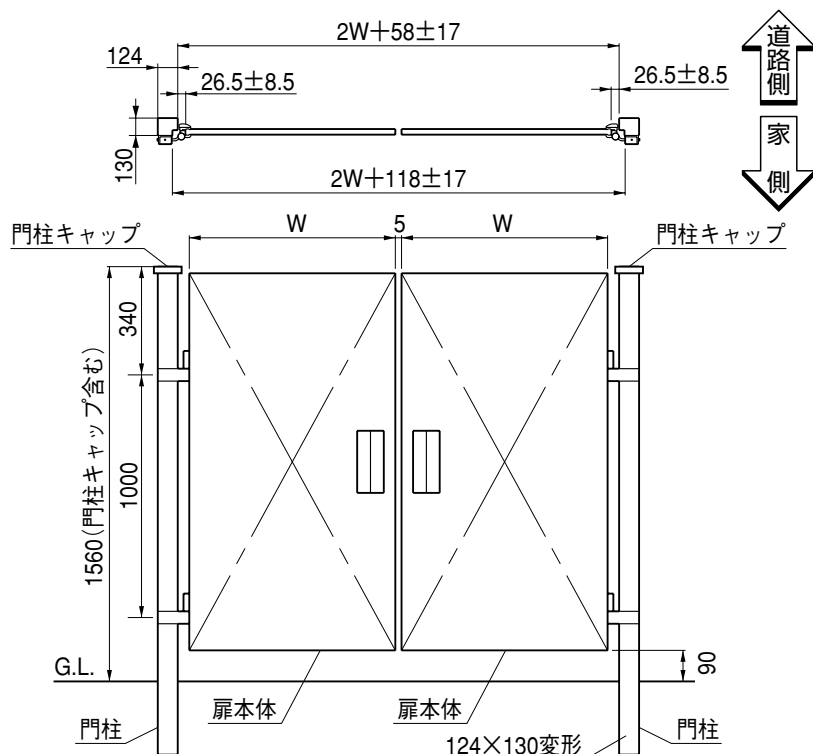
名 称	員 数
両錠本体	1
シリンダー付き落とし棒本体	1
落とし棒取付ベース	1
落とし棒受け	1
戸当り板	1
キー	3
スイッチボックス(通電金具用)	1
スイッチボックス(防滴プレート用)	1
防滴プレート	1
施・解錠押しボタンスイッチ	1

名 称	員 数
ヒンジAタイプ(上)	2
ヒンジAタイプ(下)抜け止めネジφ6-M4×8特サラ付	2
ヒンジカバー	4
ヒンジキャップ	4
ヒンジカバー取付ネジM 4 × 20ナベ	4
ヒンジ取付ボルトM 8 × 30フランジボルト	8

名 称	規 格	員 数
シリンダー付落とし棒本体取付ネジ	M 4 × 8 サラ	4
落とし棒取付ベース取付ネジ	M 5 × 10 ナベ	2
戸当り板取付ネジ	M 5 × 16 サラ	3
錠本体(内)組付ネジ	M 4 × 8 サラ	4
錠本体(外)組付ネジ	M 4 × 25 サラ	6
取付説明書 (A315)		1
取扱説明書 (UA005) ※		1

※扉本体の梱包に入っています。

1. 基本寸法



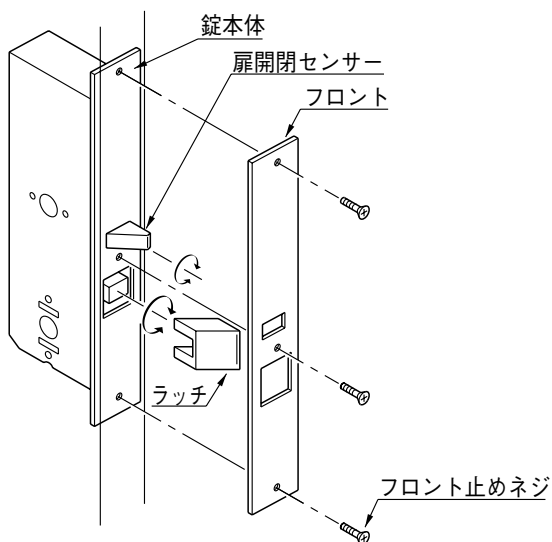
2. 勝手変更

勝手変更

錠本体は、右勝手内開き用になっています。扉の勝手が、右勝手内開き以外の場合には、下記の勝手変更方法に従って、錠本体、ハンドル座の勝手を変更してください。

A. 錠本体の勝手変更方法

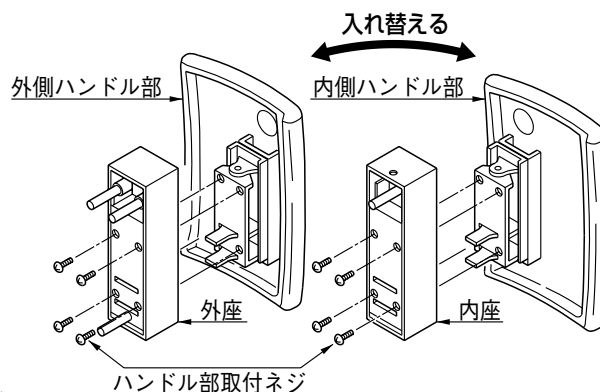
- 1) フロント止めネジ (M4×8⊕サラ) をゆるめ、フロントをはずしてください。(ラッチを落とさないように注意してください。)
- 2) ラッチを抜き取り、開きを変えて差し込んでください。
- 3) 扉開閉センサーは回して向きを変えてください。
- 4) 再び、フロントを取付けてください。



B. ハンドル座の勝手変更方法

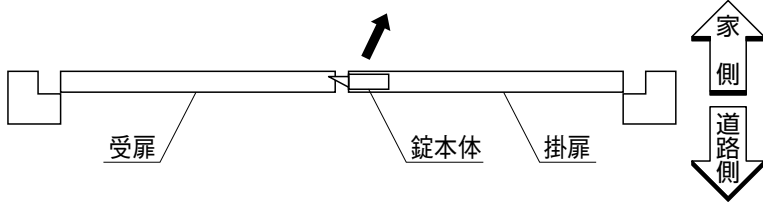
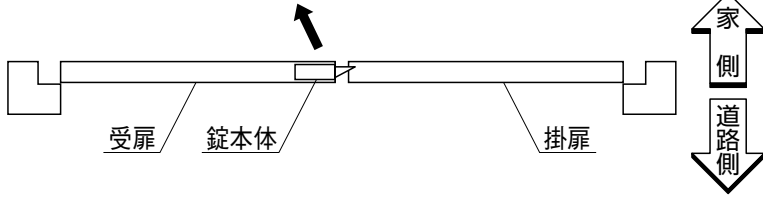
- 1) 外ハンドル座、内ハンドル座共、ハンドル取付ネジ (M4×8⊕サラ) 4本をゆるめ、ハンドル部を取り外してください。
- 2) 外側のハンドル部を内座に、内側のハンドル部を外座に取付けてください。

注) 固定ハンドル座も同様に内、外のハンドル部を入れ替えてください。

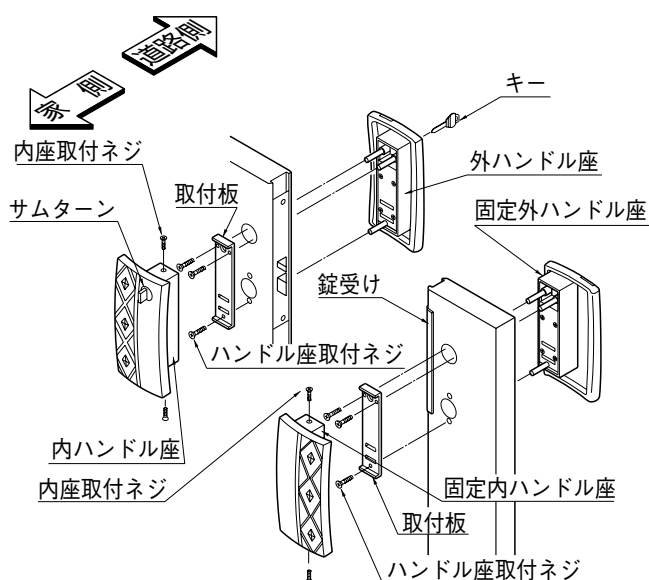


勝手変更方法

下の表に従って、勝手を変更してください。

扉の勝手（図は扉を上から見た図です）	勝手変更
右勝手内開き 	勝手変更不要。 そのまま取付けてください。
左勝手内開き 	右記A、Bに従って、錠本体 及び、ハンドル座の勝手を 変更してください。

3.錠の取付け



外ハンドル座取付け

扉外側から外ハンドル座を差し込み、扉内側から、取付板をあてハンドル座取付ネジ（M4×25 $\oplus$ サラ）3本を締めつけてください。

注）キーを抜いた状態で取付けてください。

内ハンドル座取付け

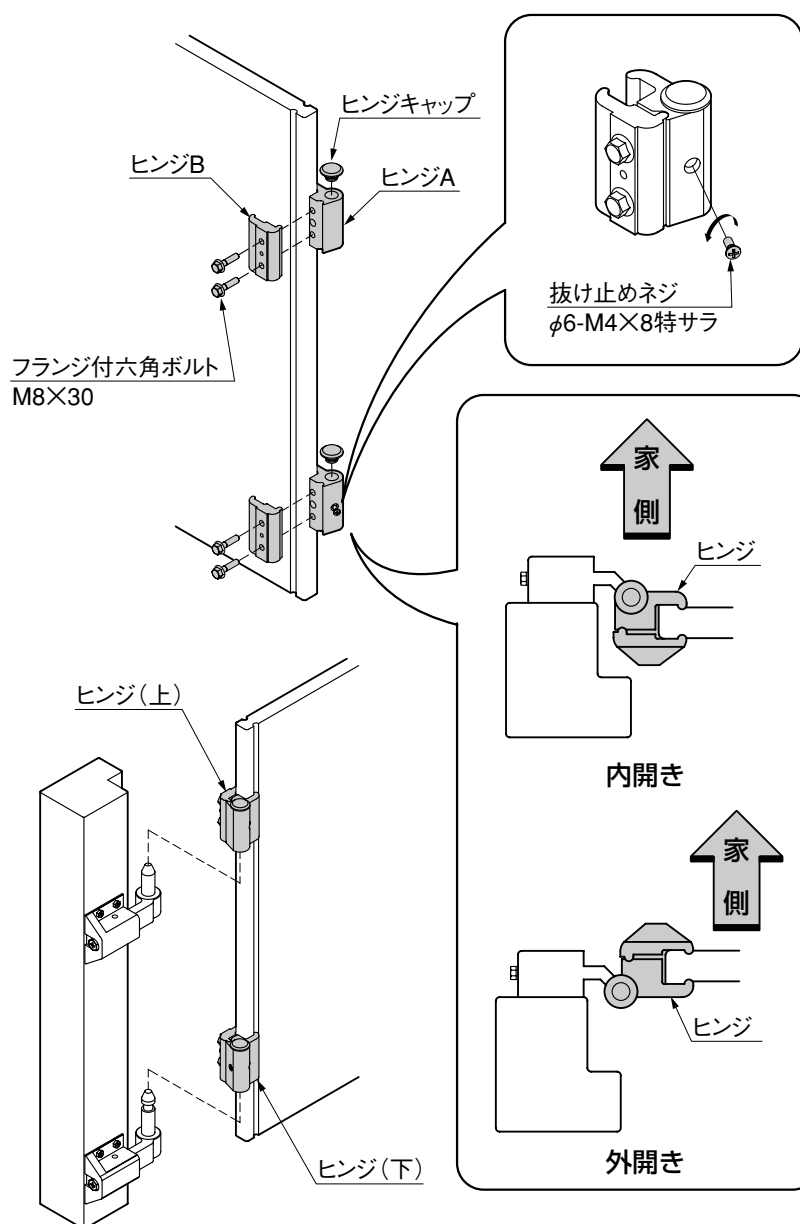
内座取付ネジ（M4×8 $\oplus$ サラ）2本で上、下2ヶ所締めつけてください。

固定ハンドル座取付け〔両開きセットの場合のみ〕

扉外側から固定ハンドル座を差し込み、扉内側から取付板をあてハンドル座取付ネジ（M4×25 $\oplus$ サラ）3本を締めつけてください。

次に、固定内ハンドル座を内座取付ネジ（M4×8 $\oplus$ サラ）2本で上、下2ヶ所締めつけ取付けてください。

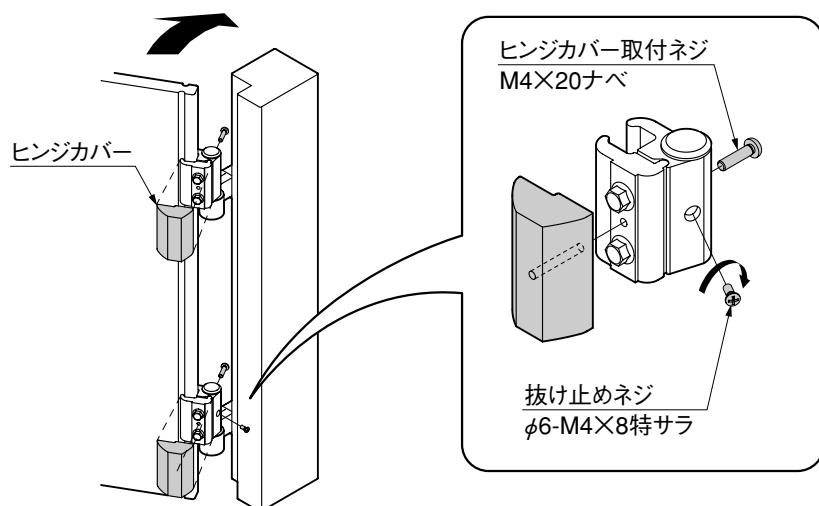
4. ヒンジの取付け



- ① 門扉の溝に合わせヒンジAとヒンジBで挟み、フランジ付ボルト (M8×30) で固定してください。

<注 意>

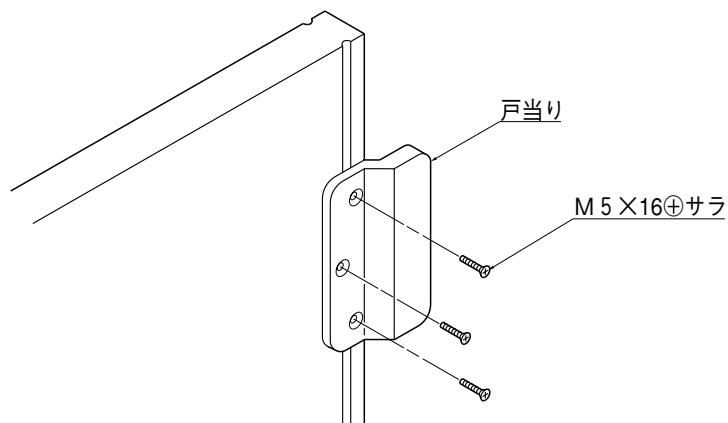
- 抜け止めネジのネジ穴のあるヒンジが下にくるようにします。
- ② ヒンジキャップをはめてください。
 - ③ ヒンジ(下)の抜け止めネジをゆるめてください。
 - ④ ヒンジを(下)、(上)の順に調整金具のシャフトに差込んでください。



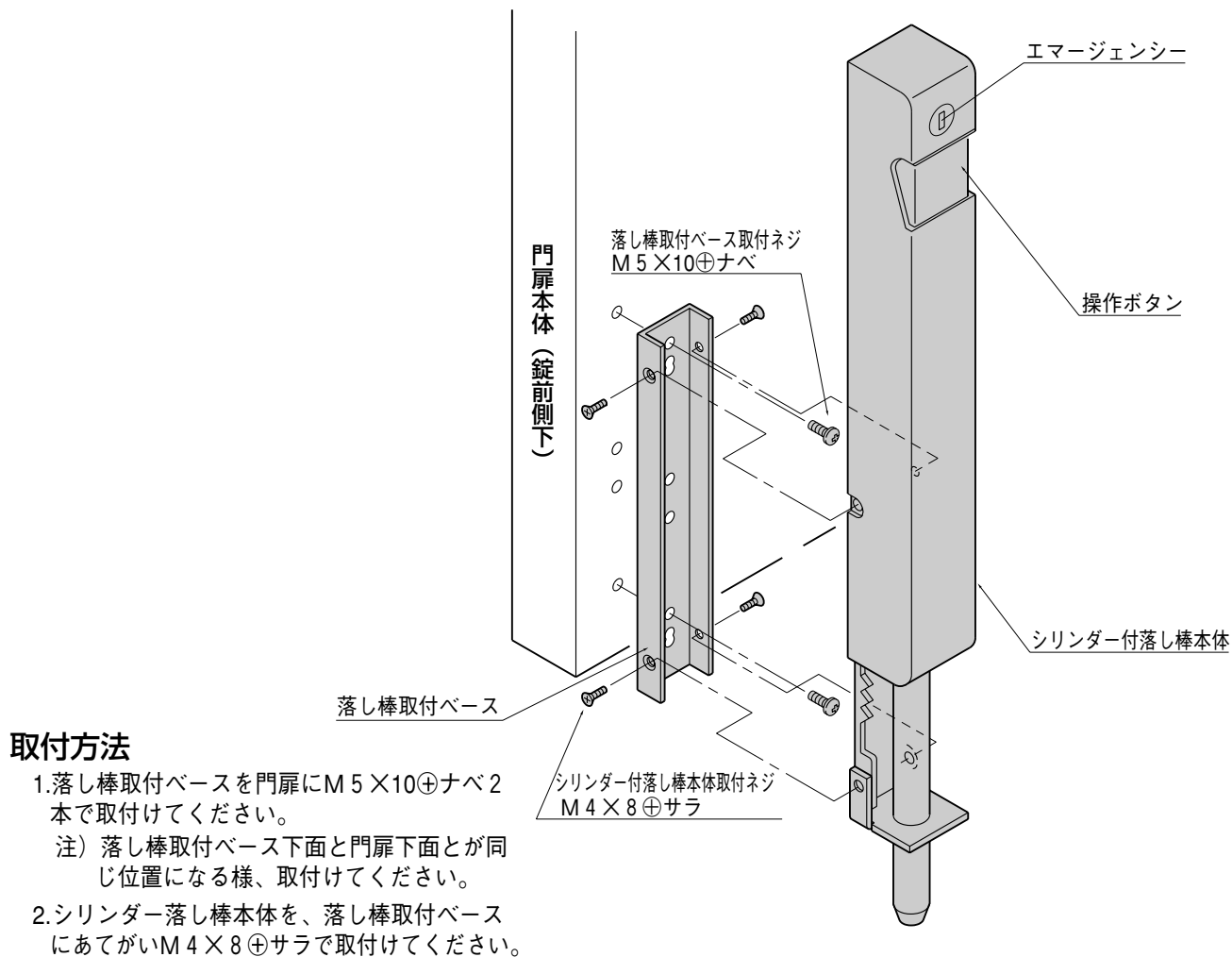
- ⑤ 門扉をあけ、ヒンジ(下)の抜け止めネジを締めてください。

- ⑥ ヒンジカバーを取付けてください。

5.戸当りの取付け

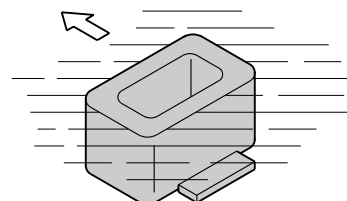


6.落し棒の取付け

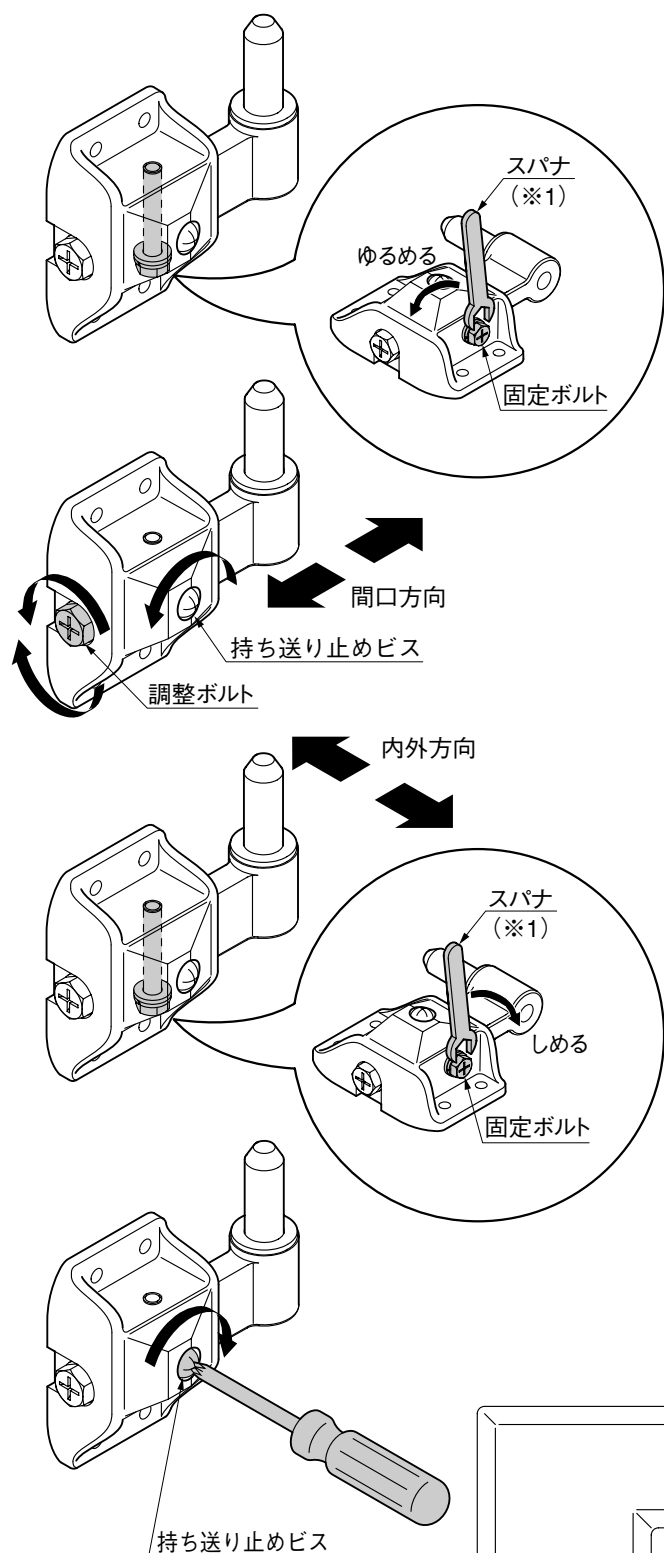


スライド方法

落し棒本体をスライドさせる時は、操作ボタンを押しながら操作してください。



7.調整方法



① 固定ボルトをゆるめてください。

<注 意>

- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと固定ボルトが破損します。
- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

<注 意>

- 内方向に調整の場合は持ち送り止めビスをゆるめてください。

③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

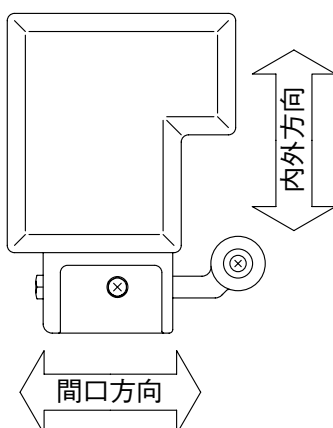
<注 意>

- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

④ 「持ち送り止めビス」を締め、持ち送りを固定してください。
(出荷時ビスは仮締めされています。)

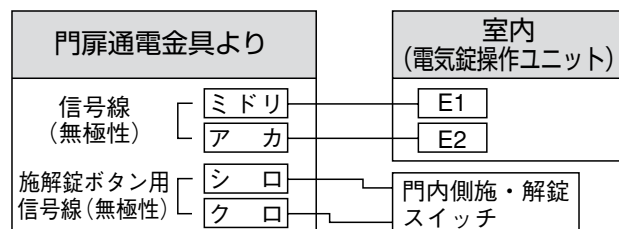
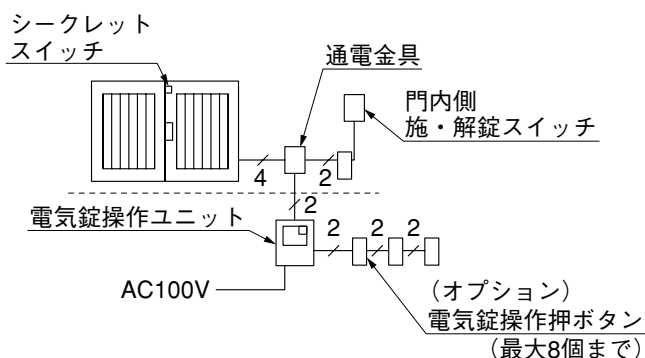
表7-1 調整範囲

	調整金具P 調整金具K
内外寸法	±7.5mm
間口方向	±8.5mm

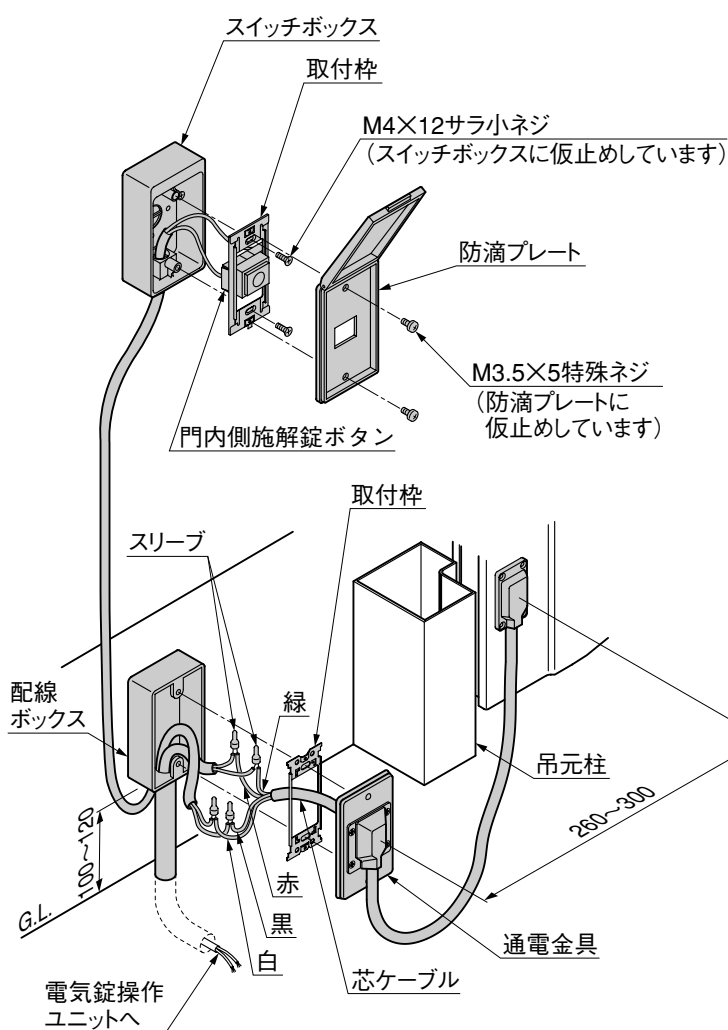


ここから先は、電気工事店様が行ってください。 8. 電気錠システム取付および接続方法

8-1 システム図



8-2 接続方法 ※図は右勝手、家側を示します。



最大配線長さ

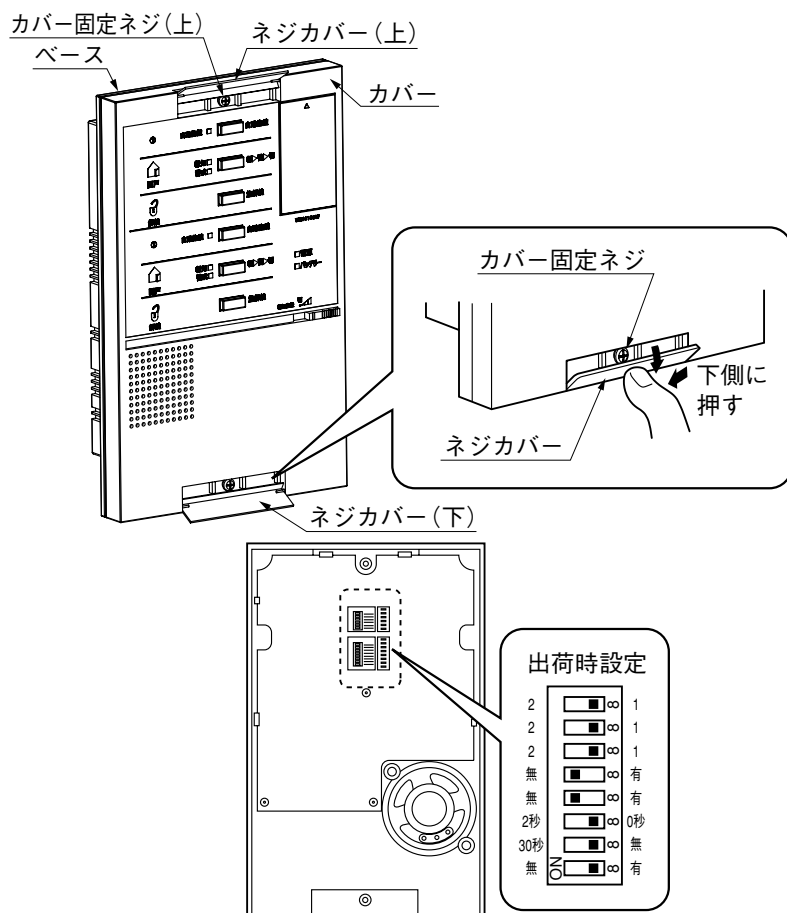
配線間	使用配線	φ0.65または0.5mm ²	φ0.9または0.75mm ²
操作ユニット～シークレットスイッチ		50000 (50m)	50000 (50m)
シークレットスイッチ～門内側施解錠ボタン		50000 (50m)	50000 (50m)

<注意>

- 電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押しボタン(オプション)の詳しい取付方法、使用方法は付属の説明書を参照してください。
- 配線の結線には必ずスリーブを使用してください。
- スリーブの圧着は確実にやり、必ず防水テーピングを施してください。防水テーピングを施さないと故障の原因になります。
- 施工終了後、各梱包に付属している全ての説明書を全て施主様にお渡しください。
- 門内側施解錠ボタンの取付位置はG.L.より約1400mmにしてください。取付位置は門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けてください。

8.つづき

8-3 自動施錠の設定



- ① 電気錠操作ユニットのカバ－固定ネジをゆるめ、カバ－をあけます。

<注 意>

- カバ－固定ネジはネジカバ－を開いたところにあります。

- ② カバ－内部のスイッチ4番または5番を右側へ設定します。

<注 意>

- 出荷時のスイッチ設定は4番および5番は左に、それ以外は右に設定されています。
- 電気錠のつないである回路のスイッチを右側へ設定してください。
- 電気錠操作ユニットの詳しい設定方法は付属の取説を参照してください。

- ③ 電気錠操作ユニットのカバ－をベースに取り付けてください。カバ－固定ネジを締め付け、ネジカバ－を閉めてください。

施行上のご注意

- 落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしないで地中配線をしてください。
- 門内施解押ボタンおよび家具から通電金具（4芯）までの配線および、増設する施解錠スイッチへの配線は100Vおよび200Vの配線と、接近して平行または交差させないでください。（平行させる場合には、500mm以上離してください。）また、埋込み配線の部分は100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
- 地中電線路の配管には、従来掘り起こすことがない場所を選んでください。
- 配管距離が長い場合、また、曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
- ハンドホール内で電線の接続は行わないでください。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更は避けてください。
- 施工終了後、各梱包に付属している全ての説明書を施主様にお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

A315

KFY572389F
200208A_1001
201607G_1047